



穂肥までの管理作業

1月以降暖かく推移しているため、生育は早く、旺盛に経過しています。暖冬年で心配なのが早期茎立ちによる凍霜害と生育過剰による倒伏です。

今後も暖かい日が続くと予想されています。ぐずつき気味の天候ですが、適切な管理作業を心がけましょう。

その1. 暖冬年の麦踏み・土入れは特に大事！

麦踏み・土入れは、①早期茎立ちを防止し、地ぎわを保温し幼穂を守ることで凍霜害を、②過剰分げつを抑制し、草丈を短く、地ぎわに土が入ることなどで倒伏を防止します。茎立ち期までしっかり管理しましょう。

	麦 踏 み	土 入 れ
目 的 (効 果)	<ul style="list-style-type: none"> 早期茎立ちを抑え凍霜害を防止 草丈を短くし、倒伏を防止 分げつを促進し、生育を揃える 	<ul style="list-style-type: none"> 幼穂を保温し、凍霜害を防止 過剰な分げつの抑制と倒伏防止 排水対策
ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> 生育が早く、茎数が多い圃場は4回以上(通常は3~4回) 土が湿った時は行わない(土が締まりすぎ麦を痛める) ※目安は「靴に土が付くかどうか？」 	<ul style="list-style-type: none"> 生育量が多い時は3回(通常は2回) 平年より強めに行う(2回目以降) ※生育が少ない圃場の土入れは2回とも軽めに行ってください。

今年は生育が早く、量も多いので例年よりも多く行うよう心がけてください。

その2. 適期穂肥で収量・品質の向上！

穂肥の目的は、穂をつくる(①一穂の粒数を増加させ、②充実をよくする)ことです。適期は茎立期(幼穂長2cm程度)です。例年2月下~3月上旬ですが、今年は早まると思われます。幼穂・幼穂を見て適期に施用しましょう！

	品 種 名	施 肥 量
はだか麦	トヨノカゼ	化成肥料16-0-16 の場合→20kg/10a
小 麦	チクゴイズミ	(窒素3kg相当)
	ニシノカオリ(醤油用)	化成肥料16-0-16 の場合→30kg/10a
	ミナミノカオリ(パン用)	(窒素5kg相当)

穂肥の適期

幼穂長: 2cm程度

幼穂長: 2~5mm程度



※葉色が薄い生育の劣った麦は、収量・品質確保のため1~2割増肥してください。

排水対策は麦づくりの「基本」です!!
今後の降水に備え、排水対策は徹底しておきましょう。